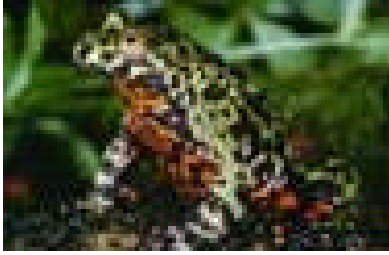




沿海州・ケドロバヤバジの森林。林床にはシダやエゾウコギ、さまざまなツル植物が生育し、多様性に富んでいる（写真提供・地球の友ジャパン、以下同）



沿海州シホテ-アリニの川



ウスリー川流域のタイガには世界最大のネコ科動物であるアムールトラ（写真右）のほか、ツキノワグマ、オオヤマネコ、カモシカ、クロテン、リス、オオジカ、イノシシ、クズリなどさまざまな動物が生息する。写真提供：地球の友ジャパン。以下同





伐採跡地（サハリン）。写真提供：地球の友ジャパン。以下同



地区環境委員会による盗伐の取り締まり。迷彩服を着た係官がトラックを検査している（沿海地方）



沿海地方、サマルガ川流域のタイガ林（1996年、撮影 A.パニチェフ、提供：地球の友ジャパン）
写真上のサマルガ川の流域は、ピキン川などとも未だ原生のタイガ林を多く残すシホテ-アリニ山脈森林生態系の最重要部分を形成している。シベリアトラなどの絶滅危惧種の生息地、ウデゲ族などの森林先住民族の生活圏でもある。写真下左はウデゲ族の猟師。



サマルガ川でとれたサケの仲間 写真提供：地
球の友ジャパン